学校番号	1009

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	発展音楽	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歌唱、器楽、創作、鑑賞、さまざまな内容に取り組みながら、音楽を多面的にとらえ、他者とのコミュニケーションを図りながら「わかる・できる力」を養います。
・「音楽って楽しい！」という気持ちを大切にしながら、レベルアップした音楽創りを一緒に行いましょう！

2　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次の通り育成する。
１．曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした発展的な音楽表現をするために必要な技能を身につけるようにする。
２．自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴くことができるようにする。
３．主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	【知識】 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 【技能】 創意工夫を生かした発展的な音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	三部合唱に挑戦しよう！	「ふるさと」 「Story(AI)」	a:【知】曲想と音楽の構造や歌詞について理解している。 【技】曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能、他者との調和を意識して歌う技能を身に付けている。 b:旋律や強弱など音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図を持っている。 c:発声法や音楽の構造、他者との調和やハーモニーについて関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	・演奏の聴取	・ワークシート ・演奏の聴取	・観察 ・振り返りシート
2	箏に挑戦しよう！	「さくら変奏曲」 ※難しい奏法を取り入れて。 【創作】 ※簡単の音の羅列でフレーズを作り、身近な楽曲を作成する。	a:【知】曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景との関わりについて、また楽器の音色や奏法との関わりについて理解している。 【技】曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付けている。 b:箏の音色や旋律、強弱など音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏したり、音楽をつくるかについて表現意図を持っている。 C:箏の奏法や音楽の特徴について関心を持ち、音楽活動・創作活動を楽しみながら主体的・協働的に箏の演奏活動に取り組もうとしている。	・演奏の聴取	・ワークシート ・演奏の聴取	・観察 ・振り返りシート

	ギターでアンサンブルしよう！	・「ジブリメドレー」	a:【知】曲想と楽器の音色や奏法、楽曲の構成について理解している。【技】曲にふさわしいギターの奏法の技能を身に付け、他者との調和を意識して演奏する技能を身に付けている。 b:楽曲の構成やパート同士のつながりを知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図を持っている。 C:ギターの音色や奏法、に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	・演奏の聴取	・演奏の聴取	・観察 ・振り返りシート
	ミュージカルを観てみよう！	「レ・ミゼラブル」	a:【知】音楽の特徴と文化的・歴史的背景について理解している。 b:ミュージカルの歴史や音楽の特徴について知覚し、それらの特徴を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えている。 C:ミュージカルの歴史や時代背景、音楽の特徴などに関心を持ち、主体的に学習活動に取り組もうとしている。	・ワークシート	・ワークシート	・観察
3	グループアンサンブルに挑戦しよう！	アンサンブル ※2～5名程度のグループを作り、各グループで楽曲を選択しアレンジをする。	a:【知識】曲想と楽器の編成との関わりや楽曲の構成について理解している。 【技能】曲想を踏まえて、楽器の編成や楽曲の構成を考え、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけている。 b:曲想や楽曲の構成などを考え、どのように表現するかについて表現意図を持っている。 c:アンサンブルに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現活動に取り組もうとしている。	・演奏の聴取	・演奏の聴取	・観察 ・振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度